

# 「禁止条約参加署名」推進ニュース

発行：原水爆禁止日本協議会 電話:03 - 5842 - 6031 2023 年  
FAX:03 - 5842 - 6033 E メール：antiatom55@hotmail.com 10 月 20 日

## 署名を集めて NY へ！ ～TPNW 第2回締約国会議参加者の決意～

11 月 27 日から 12 月 1 日までニューヨークの国連本部で開催される核兵器禁止条約第 2 回締約国会議・日本原水協代表団に参加する皆さんから、決意を寄せてもらいました。



私は NPT 再検討会議に関心があって行こうと思っていたのですが、年を考えるともう 80 歳になるので、締約国会議の方がいまは核兵器のない世界に向けてリードする会議だと思って行くことを決心しました。

核兵器の怖さを知ってから、ずっと戦争と核兵器をなくしたいと思ってきました。でもどういう風にやっていたのかわからないままずっと来ています。私たち被爆者は、

もう残り時間が少ないのです。なんでもいいから、廃絶まで行かなくても、少なくとも見通し、保有国は何年度を目指してだんだん少なくしていくとか、そういう具体的な数字を見て死にたいという思いです。

(愛知県原水爆被災者の会理事長・金本 弘)

締約国会議では、特に禁止条約の第 6 条に焦点を当てていきたいなと思っています。つまり、原爆の被害者、核実験の被害者に禁止条約が第 6 条で援助する規定を設けていますが、それについて日本の被爆者が貢献できるというのは大変大きいと思います。ある意味で日本政府がこの条約に参加しなかったとしても、オブザーバーで参加をして第 6 条を具体化する貢献というのは、被爆者をずっと日本



政府が見ているわけですから、大きな貢献が本来政府としてできるはずだと思います。

私は被爆2世ですが、そういう観点から被爆者の皆さんと一緒に現地で、その点での発言や貢献ができればと思っています。そして、だからこそ早く日本政府が核兵器禁止条約に参加する意味がこの第6条から考えても、大変大きいと思ってニューヨークに行ってきます。

(愛知県原水協代表委員／愛知県原水爆被災者の会副理事長・大村義則)

私は、1996年に名古屋青年合唱団入団以降、原爆によるヒロシマ、ナガサキの悲惨さを歌ったり、核兵器反対の歌を歌ったりしてきました。幾度も繰り返し歌ってきました。その中で培った思いをもってニューヨーク国連本部に行きます。私の力は「耳かきいっぱい」分くらいかもしれませんが、核兵器をなくす世界の国と人々運動に少しでも貢献がしたいと思い、参加を決意しました。その気持ちを歌にしました。私の作詞作曲「ニューヨークに行ってきます！」です。ここ（<https://youtu.be/Cv2Wtrvpup4>）またはQRコードから観られます。



私はいま、ニューヨーク派遣カンパの訴えで愛知県の合唱団サークルを回っています。そこでは訴えとともにこの曲を歌っています。1分余りの短い曲ですので与えられた時間内に終われます。大変好評で「この曲に感動した」との声もありカンパも順調に集まっています。

いま、戦争のニュースが連日報じられ、アメリカ市民も憂慮していると思います。私はニューヨークでも歌を歌い「戦争反対」「核兵器廃絶」の思いをアメリカと世界の人びとに伝えたいと思います。

(愛知のうたごえ協議会／名古屋青年合唱団・佐藤俊隆)

**国連軍縮週間を署名の全国行動に  
行動計画をお寄せください**